

**国保問題**

**問 国民健康保険事業の運営状況は**

**答 医療費等負担増により大変厳しい**



松沢 貞一議員

**【国民健康保険事業】**

**問**

国保事業の財政、滞納等の現状は。

**村長**

村は農業、自営業等が多いため国保の加入率は41%（他市町村平均は27%）になります。国保の財政状況は、平成20年度、歳入は12億700万円で、その内訳は、国保税26%、国庫支出金33%、療養給付費等交付金13%等です。歳出は11億7900万円で、その内訳は、保険給付費61%、老人保健拠出金2%、後期高齢者支援金15%、介護納付金6%等です。国保税の滞納は346件、5



好評、頼もしいデマンドタクシー

600万円となっています。財政安定化のための施策は。

**村長**

医療費の抑制が第一です。村の平成20年度一人当たりの医療費は23万1000円（県平均は25万8000円）です。医療費の上位は循環器や消化器系の疾患で、生活習慣病によるものが年々増加しています。一方特定検診受診率は50%です。健康に対する知識の普及、啓発や予防教育の徹底と併せ、受診率を高めることにより重症化する前の早期の治療に重点を置き事業推進を図りたいと考えています。

**問**

今後の見通しは。

**村長**

医療費の増加、介護後期高齢者支援金等の負担増加や、所得の減少等により、大変厳しい運営が予想されます。制度を維持するため、保険税の見直しや繰出金についても議論する必要があります。

**【デマンド型 乗合タクシー】**

運行利用の実態は。

**問**

**村長**

利用登録者は2月末で616人。そのうち女性が7割です。年代では75歳以上が7割超です。平成21年4月から22年2月末までの利用者総数は5467人、1人平均4回の利用です。目的地では、自宅、医療施設、買い物等が多く、運行経費は2月末まで793万円で1人当たり1451円です。

**問**

高齢者の生活の利便性や社会参加を積極的に進める手段として重要な役割を担う事業と思うが今後の計画は。

**村長**

運行経費を抑えながらも利用者の増加を図るといふ観点から、利用促進のための環境を整備し村に必要な交通システムになるよう、地域との協働体制に向けた協議を平成23年度までの実証運行の中で方向づけていきます。